



がん相談支援センターについてアンケートを行いました

がん相談支援センターでは、当病院の外来、入院患者さんを対象に毎年アンケートを行っています。このアンケートは、がん相談支援センターをより多くの患者さん、ご家族に知ってもらい、有効に活用してもらうことを目的として行っています。

今回は、令和5年11月に実施しており、有効回答数は1,954枚と大変多くの方からのご意見をいただくことができました。

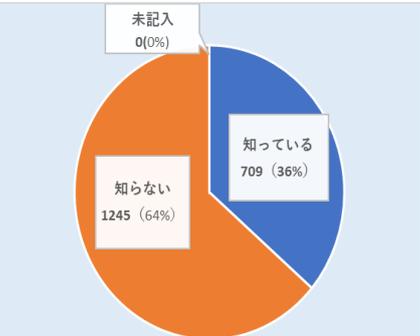
回答者全体では36%、がん患者さんでは71%の方ががん相談支援センターをご存じでした。また、利用された方の90%が、「利用して役に立った」、94%が「また利用したい」と回答されていて、相談をお受けするがん相談員としてはお役に立ててよかったとほっとしているところです。

国が示している第4期のがん対策推進基本計画では、「外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問（必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む）することができる体制を整備することが望ましい」としており、さらに「質の高い相談支援体制を持続可能なものとする」と記されています。**ぜひご利用ください。**

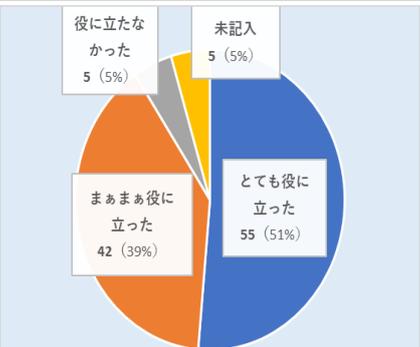
日大板橋病院のがん相談支援センターは、今後もアンケートなどにより、病院を利用される皆様からのご意見をもとに、さらに満足度の高い支援をしていければと考えています。

詳しいアンケート結果は病院ホームページに掲載予定です。

ご協力ありがとうございました



がん相談支援センターはご存知ですか



今回相談した目的は役に立ちましたか

アピランス（外見）ケア ウィッグ等の助成金をご存知ですか？

近年ではがん医療の進歩により、治療しながら生活や仕事をする方も増えており、男女問わずアピランス（外見）ケアが重要視されています。がん治療を受けられた方を対象にウィッグや、乳がん術後の胸部補整具の購入代金を助成する取り組みが始まり、少しずつ医療用ウィッグ等の助成を始める区市町村が増えています。当病院近隣では板橋区・豊島区・北区・文京区、今年度から練馬区でも助成制度が開始されました！助成金額や助成内容、申請方法は区市町村で異なりますのでご確認ください。まだ開始されていない区市町村でも、今後助成制度が始まるかもしれませんので、一度お住まいの区市町村へお問い合わせください。



がん相談支援センターには治療の副作用による脱毛への不安や、ウィッグ選び、乳がん術後の下着についての相談も多く寄せられます。外見の変化で、気分の落ち込みなどから人に会うことや、日常生活を送ることへの不安などを感じられる方も少なくありません。相談の中では不安な気持ちを聞きながら、ウィッグや下着を選ぶ時のヒントを伝え、少しでも気持ちが前向きになれるよう一緒に考えていきますので、一人で悩まずご相談ください。

相談は予約なしでも、電話でも可能です。お気軽にどうぞ。

募集中!

☆6月就労支援プログラム「ワーキングサポート」お知らせ☆

■2024年6月4日（火）・11日（火）・18日（火） 17:00~18:00

※全3回（申込×切は開催予定日の1週間前までです。） 申し込みはこちら⇒

※対面（開催方法がWEB（ZOOM）に変更になる場合があります。）



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

東京都板橋区大谷口上町30-1 電話3972-0011（直通）0570-01-8111（ナビダイヤル）内線3169

【受付時間】月曜日～金曜日（病院休診日を除く）相談対応時間 8:30~12:00, 13:00~16:00

予約受付時間 8:30~16:30

掲載記事に関してのご質問等がありましたら、がん相談支援センターまでお問い合わせください。